

**令和2年度 第2回 大阪市障がい者施策推進協議会地域自立支援協議部会
(大阪市地域自立支援協議会) 会議要旨**

日 時：令和3年3月16日（火）
午前10時00分から午前11時30分まで
場 所：大阪市役所 地下1階 第11 共通会議室

【議題1 報告事項】

- ・精神障がい者が身体的な疾患で入院しようとした際、過去に病院内で不安定になられた場合などは、内科では対応できないとされるケースが見受けられる。現在は、内科病院等に精神科医が出向いて医療協力することを評価する仕組みはあるものの、コロナ禍で病院が神経質になっていることもあり、より一層の体制の充実が重要だと思う。
- ・大阪市地域自立支援協議会においては、課題の共有にとどまらず、地域が抱える課題の解決に向けた検討の場とすることが必要である。
- ・計画相談支援事業所の確保に向けて、事業所が廃止に至る要因等を分析して、支援策を検討して欲しい。
- ・虐待防止報告に関して、具体的な事例紹介までは出来なくても、件数報告にとどまらず、主な事例の概要を示すなどの検討をされたい。
- ・相談支援従事者研修が見直され、相談支援専門員になるハードルが上がったことから、今後の相談支援の現場の人員不足に対応する支援策を検討することが重要である。
- ・本市の障がい者に対する新型コロナウイルス感染症対策について、関係各課や各区等の緊密な連携により非常に助かった部分が多かったものの、実施する中で見えてきた課題もあると思うので、今後の取り組みに生かされたい。

【議題2 障がい者基幹相談支援センターの今後の体制について】

- ・障がい者基幹相談支援センターの体制強化が図られたことについては評価できる。
- ・各区の相談支援の現場では、様々な関係機関と連携することが多く、「つながる場」をうまく活用していくことが重要である。

【議題3 区地域自立支援協議会から政策形成につなげる仕組み（案）】

【議題4 次期「大阪市障がい者支援計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画」（素案）に対するパブリック・コメントの結果及び次期計画（案）】

- ・市内で発生した障がい者の死亡事案について、障がい者が SOS を発信しているケースもあり、関係各課が緊密に連携し、障がい者を支えるということが必要と思う。
- ・各区地域自立支援協議会からの課題報告については、次回の大阪市地域自立支援協議会までに集約することを検討されたい。

- 課題には区レベルで取り組むものと市レベルで取り組むものがある一方で、社会資源が不足するために民間事業者では対応できない問題も存在する。これは、区だけで取り組めるものではなく、関係各局によるバックアップ体制が重要であると思う。